

蠟梅 Now

年が明けて1月15日1時55分頃、軽井沢町で、スキーツアーバスがガードレールをなぎ倒して道路脇に転落し、乗員・乗客41人中運転手2人を含む15人が亡くなった。乗員を除く13人全員が学生で、この春学び舎を巣立ち社会人となる者も含まれていた。過去30年で最多の死者が出る痛ましい事故となった。

事故原因の究明は未だ途上にあるが、ガードレールに接触する前から制御不能となった可能性があり、制限速度50km/hの現場区間を100km前後で走っていたとみられる。

外国人観光客の急増などでバスの需要が高まり、バスの運転手は人手不足となっている。事故を起こしたバス会社は、1年前に国交省の立ち入り捜査を受けており、その際、運転手の健康診断や適性検査、乗務前の健康及び酒気帯び確認などを怠っていたことが判明し、1台を運行停止とする行政処分を受けている。

バスの運転手は人手不足の影響で高齢化が進み、全産業の平均年齢と比べると6歳も高いという。その上、1人当たりの総走行距離の増加、有給休暇の取得日数減少、賃金の減額など、労働環境は悪化しており、こうした事情が事故に繋がったという指摘もある。背景には、バス業界の過当競争に伴う、バス会社の立場の弱さから、格安料金で引き受けざるを得ない現実があるという。

ルールを守った競争なくしては、健全な秩序を保つことはできない。

フェニックスの如く、がんばろう 日本！

閑話休題。

当法人のシンボルツリー「蠟梅」は、記録的な温かさとなった昨年の12月も末には早々と開花するのではないかと思っていたのだが、豈図らんや、膨らんでいた蕾が、1月中旬の思いがけない猛烈な寒波に「びっくりポン」目が覚めないようである。1月も最終週に入ってから開花が3シーズン続くのかもしれない。

大自然の摂理、寒暖もそれなりの「ニュートラル」に収斂するのがその一つの表れと思っているのだが・・・、帳尻合わせの妙か。

二世の方はすっかり落葉し、ジャコメッティの彫刻を連想させる。窮屈な環境の改善を考えているのだが、園芸店に尋ねたところ、植え替えは暖かくなってからの3月頃が望ましいとのこと。

もう暫く辛抱してもらおう。



《発行者》

特定非営利活動法人 未来技術フォーラム神戸

事務局長 大森 信

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 2-2-4

TEL&FAX : 050-2014-2293 (IP Phone)

E-mail : info@npo-ftfk.or.jp

URL : <http://www.npo-ftfk.or.jp>